

(小規模企業景気動向調査)

三重の景況

No.80

(令和4年1月～6月期)

三重県商工会議所連合会
桑名商工会議所
四日市商工会議所
鈴鹿商工会議所
亀山商工会議所
津商工会議所
松阪商工会議所
伊勢商工会議所
鳥羽商工会議所
上野商工会議所
名張商工会議所
尾鷲商工会議所
熊野商工会議所

はじめに（総括）

県内 12 商工会議所では、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび令和 4 年上期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県内の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、▲32.9 と令和 3 年下期に比べ 3.5 ポイント改善しました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業▲35.0（前期▲29.3）、建設業▲27.9（前期▲25.2）、卸売業▲41.6（前期▲46.6）、小売業▲53.3（前期▲53.5）、飲食業▲21.1（前期▲62.6）、サービス業▲23.5（前期▲32.2）、交通運輸業▲49.0（前期▲26.7）、その他の業種▲22.3（前期▲20.8）と、卸売業、飲食業、サービス業で改善し、小売業はほぼ横ばいとなりました。一方製造業、建設業、交通運輸業、その他の業種で悪化となりました。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区▲29.3（前期▲33.4）、中勢地区▲40.3（前期▲39.2）、南勢地区▲25.8（前期▲44.6）、伊賀地区▲40.2（前期▲34.0）、東紀州地区▲43.2（前期▲38.0）となり、北勢地区と南勢地区で改善しました。

また、「今後の見通し」の D I 値は▲27.8 となり、現状の D I 値（▲32.9）と比較すると 5.1 ポイントの改善を見通しています。業種別では、建設業でほぼ横ばい、その他の業種で悪化、それ以外の業種は改善の見通しとなり、地区別では、すべての地区で改善の見通しとなりました。

「売上状況」の全体 D I 値は、改善となり、「利益状況」はほぼ横ばい、「販売条件」、「仕入条件」は悪化となりました。

地区別では「売上状況」は北勢地区、中勢地区、南勢地区で改善、「利益状況」、「販売条件」は南勢地区のみ改善、「仕入条件」はすべての地区で悪化となりました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 15.1%（前期 20.7%）と 5.6 ポイント減少し、「予定している」とした割合は、全体で 14.2%（前期 14.2%）とほぼ横ばいとなりました。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で▲1.0（前期 1.8）と悪化したほか、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 12.7%（前期 11.5%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 64.5%（前期 65.0%）、『設備資金』の割合は 32.1%（前期 30.6%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

令和 4 年 8 月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	9
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	10
8. 資金繰り状況と今後の見通し	11
9. 借入状況	12
借入難易度D I 値の推移	13
10. 借入予定	14
11. 借入希望先	14
12. 借入金の使途予定	15
13. 経営上の問題点	15
・ 県内商工会議所地区の景況	17
・ 景況調査票	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県内 12 商工会議所〔*1〕が、小規模企業〔*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔*3〕に行い、合わせて各会議所地区の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

〔*1〕 県内商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

〔*2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下（宿泊業・娯楽業は 20 人以下）、
製造・建設・その他の業種については 20 人以下。
（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

〔*3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山
中勢地区……津・松阪
南勢地区……伊勢・鳥羽
伊賀地区……上野・名張
東紀州地区…尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県内 12 商工会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業 9,551 事業所を対象とした。回答状況は、回答率 27.0%、回答企業 2,577 事業所であった。

3. 調査方法

F A X または郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

令和 4 年 7 月 1 日～7 月 8 日

※ 当調査は、“1 月～6 月期”と“7 月～12 月期”の年 2 回、前年同期比の D I 値による調査を実施している。

5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、伊勢・鳥羽・尾鷲・熊野の 4 商工会議所が担当した。

なお、各商工会議所地区の景況は当該商工会議所が担当した。

D I 値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

D I とは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第 2 桁で四捨五入をしているため、合計が 100.0 にならない場合がある。（マイナスは▲表示）

業種別・地区別回答状況

単位：企業（ ）：％ 上：業種別構成率 下：地区別構成率

区	地	北勢					中勢			南勢			伊賀			東紀州			計	
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山		津	松阪		伊勢	鳥羽		上野	名張		尾鷲	熊野			
製造業	食料	45	9	23	7	6	24	8	16	21	11	10	9	6	3	18	11	7	117	
	せんい	8	2	5	0	1	1	1	0	0	0	0	9	7	2	1	1	0	19	
	機械	63	20	25	16	2	12	4	8	9	4	5	3	3	0	1	1	0	88	
	金属製品	76	31	21	19	5	8	4	4	8	4	4	4	2	2	4	4	0	100	
	木材	15	6	6	2	1	16	1	15	5	5	0	3	3	0	14	10	4	53	
	化学	7	2	3	0	2	2	2	0	1	1	0	4	2	2	0	0	0	14	
	窯業	16	0	13	1	2	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	19	
	印刷出版	13	5	3	4	1	11	7	4	1	1	0	2	0	2	2	1	1	29	
	その他	46	13	15	15	3	16	4	12	12	8	4	10	5	5	6	3	3	90	
	計	289 (20.9) (54.6)	88	114	64	23	91 (19.0) (17.2)	31	60	57 (18.9) (10.8)	34	23	45 (22.6) (8.5)	29	16	47 (21.9) (8.9)	32	15	529 (20.5) (100.0)	
非製造業	建設業	土木工事	82	15	45	19	3	20	10	10	11	5	6	16	4	12	10	4	6	139
		建築工事	151	28	75	40	8	51	22	29	12	6	6	13	9	4	16	11	5	243
		その他	171	30	97	38	6	47	27	20	16	13	3	11	3	8	10	6	4	255
		(小計)	404	73	217	97	17	118	59	59	39	24	15	40	16	24	36	21	15	637
	卸売業	食料	15	10	4	1	0	4	2	2	4	3	1	5	3	2	10	7	3	38
		せんい	8	0	8	0	0	2	2	0	4	4	0	1	1	0	0	0	0	15
		その他	43	11	25	5	2	23	8	15	9	9	0	7	1	6	2	1	1	84
		(小計)	66	21	37	6	2	29	12	17	17	16	1	13	5	8	12	8	4	137
	小売業	せんい	25	10	10	4	1	12	4	8	11	9	2	7	5	2	8	4	4	63
		食料	33	10	14	6	3	17	6	11	14	11	3	9	4	5	10	3	7	83
		日用品	11	3	3	4	1	7	2	5	2	2	0	0	0	0	2	1	1	22
		電気製品	16	3	6	5	2	5	1	4	4	4	0	4	2	2	5	3	2	34
		その他	95	21	41	29	4	48	7	41	33	19	14	11	3	8	22	9	13	209
		(小計)	180	47	74	48	11	89	20	69	64	45	19	31	14	17	47	20	27	411
	飲食業	86	17	34	28	7	36	19	17	46	36	10	16	8	8	19	14	5	203	
	サービス業	美容・理容	52	13	18	20	1	4	1	3	9	8	1	7	5	2	10	7	3	82
		ホテル旅館	5	1	3	1	0	3	1	2	16	1	15	2	1	1	6	2	4	32
		自動車整備	36	10	12	8	6	17	4	13	9	8	1	11	4	7	4	2	2	77
		不動産	76	14	45	15	2	17	9	8	3	3	0	7	2	5	4	4	0	107
		その他	106	35	49	15	7	38	16	22	32	31	1	21	6	15	13	4	9	210
	(小計)	275	73	127	59	16	79	31	48	69	51	18	48	18	30	37	19	18	508	
	交通運輸業	16	7	1	2	6	21	3	18	0	0	0	3	3	0	5	4	1	45	
	計	1027 (74.3) (52.9)	238	490	240	59	372 (77.5) (19.2)	144	228	235 (78.1) (12.1)	172	63	151 (75.9) (7.8)	64	87	156 (72.6) (8.0)	86	70	1941 (75.3) (100.0)	
その他・不明	66 (4.8) (61.7)	23	20	21	2	17 (3.5) (15.9)	16	1	9 (3.0) (8.4)	5	4	3 (1.5) (2.8)	3	0	12 (5.6) (11.2)	6	6	107 (4.2) (100.0)		
合計	1382 (100.0) (53.6)	349	624	325	84	480 (100.0) (18.6)	191	289	301 (100.0) (11.7)	211	90	199 (100.0) (7.7)	96	103	215 (100.1) (8.3)	124	91	2577 (100.0) (99.9)		

1. 現状と今後の見通し

a) 現状

全回答企業 2,577 事業所中、「良い・やや良い」が 17.3%、「悪い・やや悪い」が 50.2%で、D I 値は▲32.9（前期▲36.4）となり、前回調査時に比べ 3.5 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値では、小売業はほぼ横ばいする結果となり、卸売業、飲食業、サービス業は改善がみられた。特に飲食業についてはマイナス幅の減少が大きく改善している。一方、製造業、建設業、交通運輸業、その他の業種は前回より悪化し、製造業▲35.0、建設業▲27.9、卸売業▲41.6、小売業▲53.3、飲食業▲21.1、サービス業▲23.5、交通運輸業▲49.0、その他の業種▲22.3 となった。

地区別の D I 値では、前回と比べ北勢地区、南勢地区で改善が見られたが、中勢地区、伊賀地区、東紀州地区は悪化。北勢地区▲29.3、中勢地区▲40.3、南勢地区▲25.8、伊賀地区▲40.2、東紀州地区▲43.2 となった。

図-1 現状について（業種別）

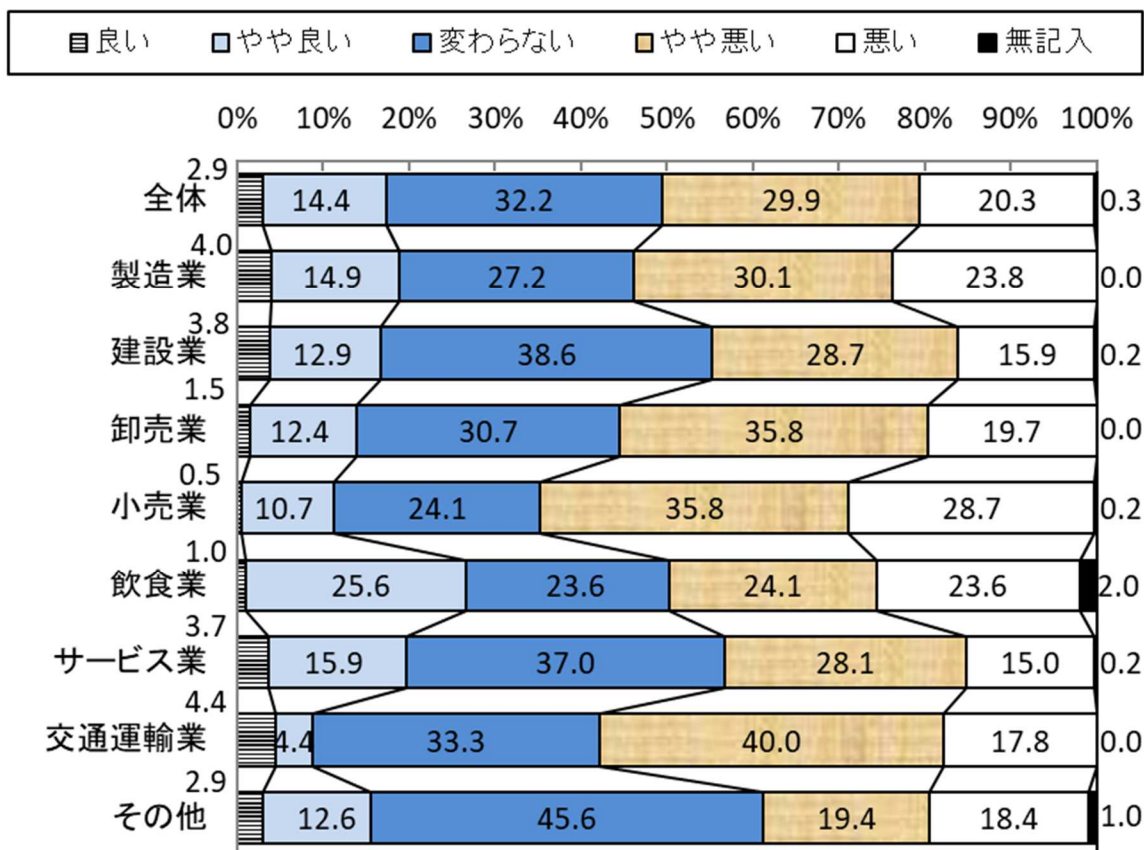


図-2 現状について（全体・地区別）

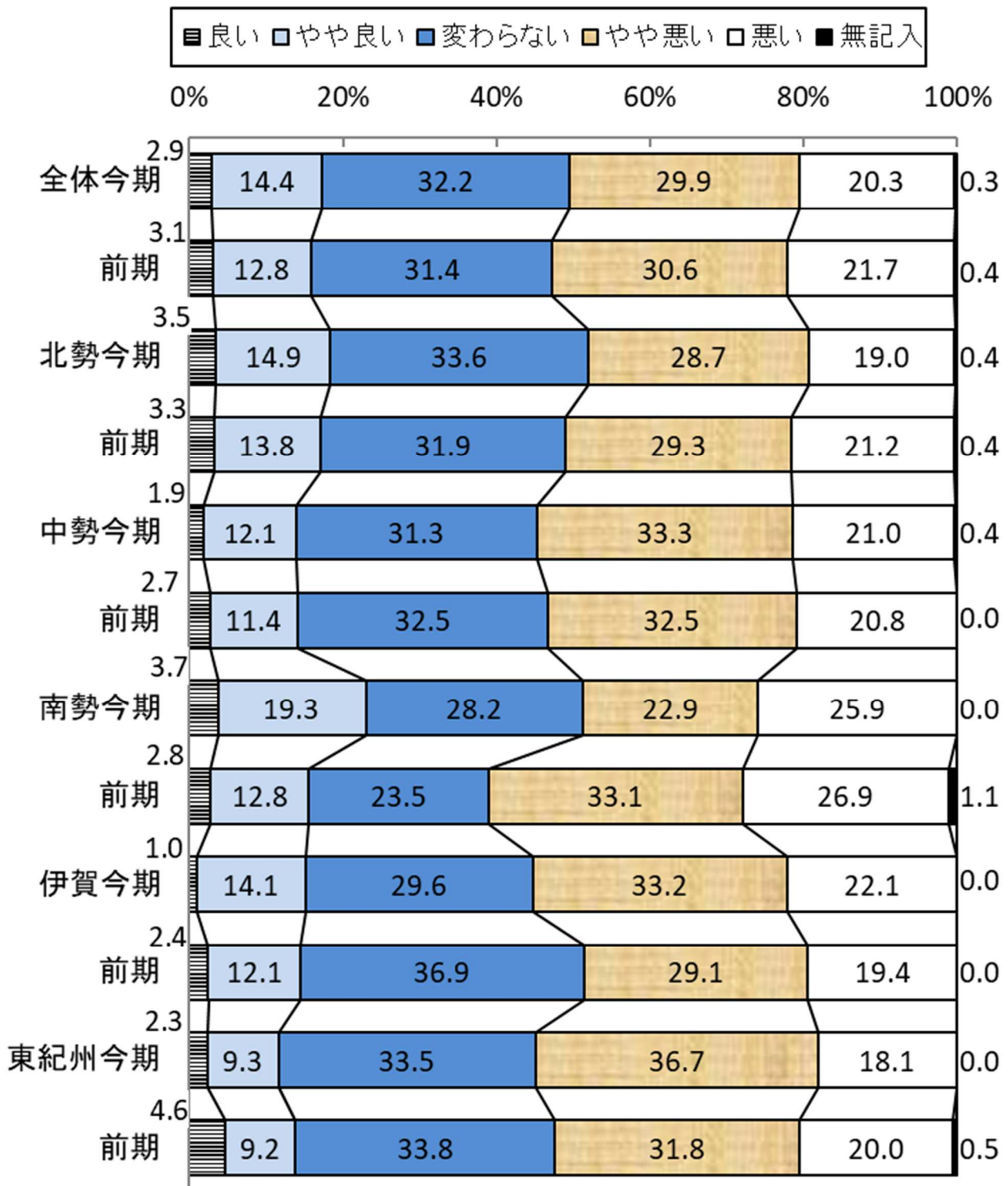
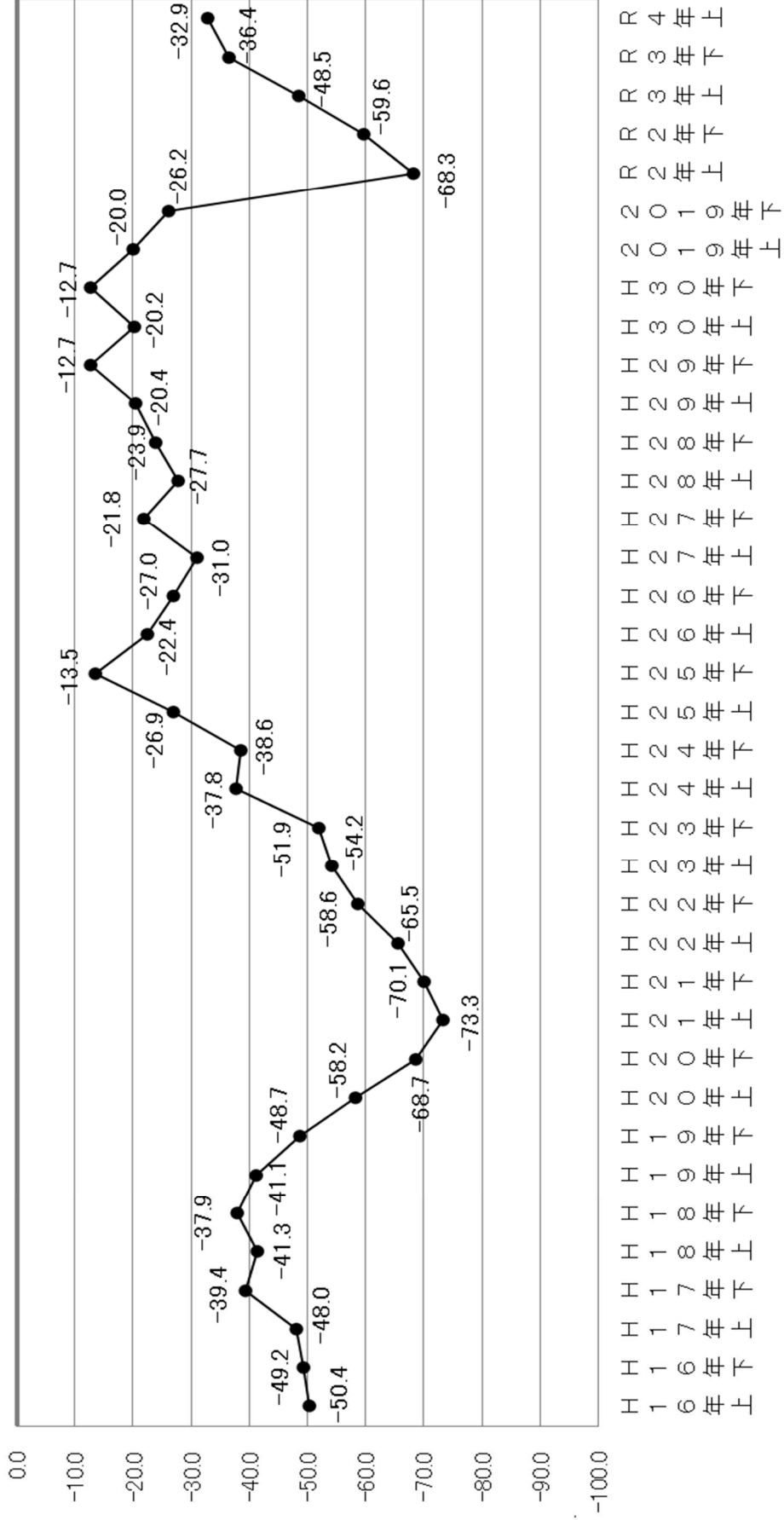


図-3 現況DI値の推移



(注) H17下期分までの値はBSI値を2倍した数値で表示

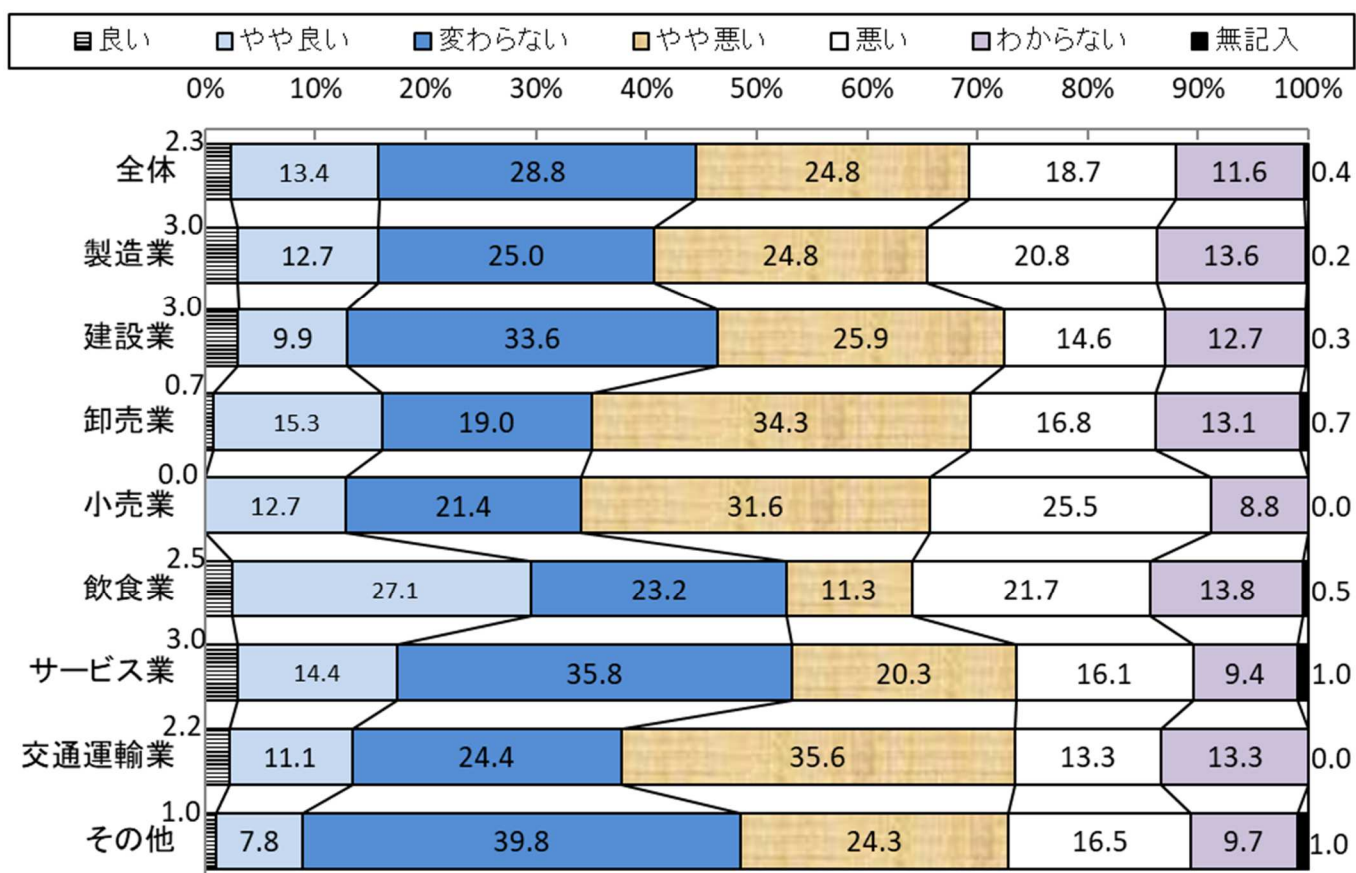
b) 見通し

全体の見通しでは、「良い・やや良い」が15.7%、「悪い・やや悪い」は43.5%で、D I値は▲27.8（現状D I値▲32.9）となり、5.1ポイント改善の見通しとなった。

業種別のD I値では、現状と比べ建設業はほぼ横ばいの見通しで、その他の業種を除く業種でマイナス幅が減少し改善する見通し。特に飲食業については現状よりマイナス幅の縮小が大きく改善する見通しで、製造業▲29.9、建設業▲27.6、卸売業▲35.1、小売業▲44.4、飲食業▲3.4、サービス業▲19.0、交通運輸業▲35.6、その他の業種▲32.0となった。

地区別のD I値では、現状と比べすべての地区でマイナス幅が縮小し改善する見通しとなり、北勢地区▲28.0、中勢地区▲33.5、南勢地区▲12.9、伊賀地区▲31.1、東紀州地区▲33.4となった。

図-4 今後の見通しについて（業種別）



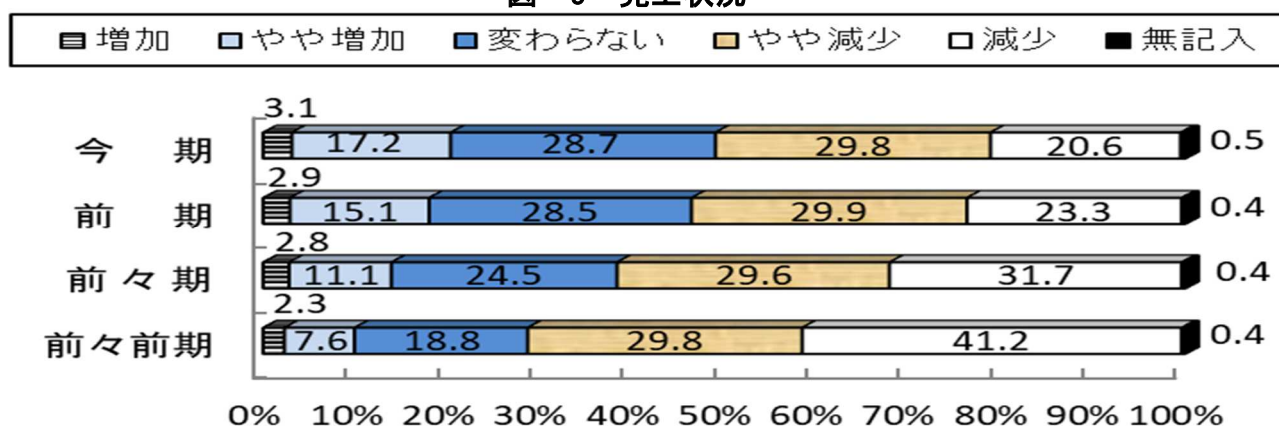
2. 最近の売上状況

全体では、「増加・やや増加」が 20.3%（前期 18.0%）、「やや減少・減少」が 50.4%（前期 53.2%）で、D I 値は▲30.1（前期▲35.2）となり、5.1 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、その他の業種はほぼ横ばいとなり、卸売業、小売業、飲食業、サービス業はマイナス幅が縮小し改善したが、製造業、建設業、交通運輸業は悪化。製造業▲29.1、建設業▲31.8、卸売業▲29.9、小売業▲44.7、飲食業▲14.3、サービス業▲24.2、交通運輸業▲40.0、その他の業種▲21.4 となった。

地区別の D I 値では、前回と比べ東紀州地区はほぼ横ばいとなり、北勢地区、中勢地区、南勢地区は改善したが、伊賀地区は悪化。北勢地区▲29.3、中勢地区▲33.3、南勢地区▲20.2、伊賀地区▲35.2、東紀州地区▲37.2 となった。

図-5 売上状況



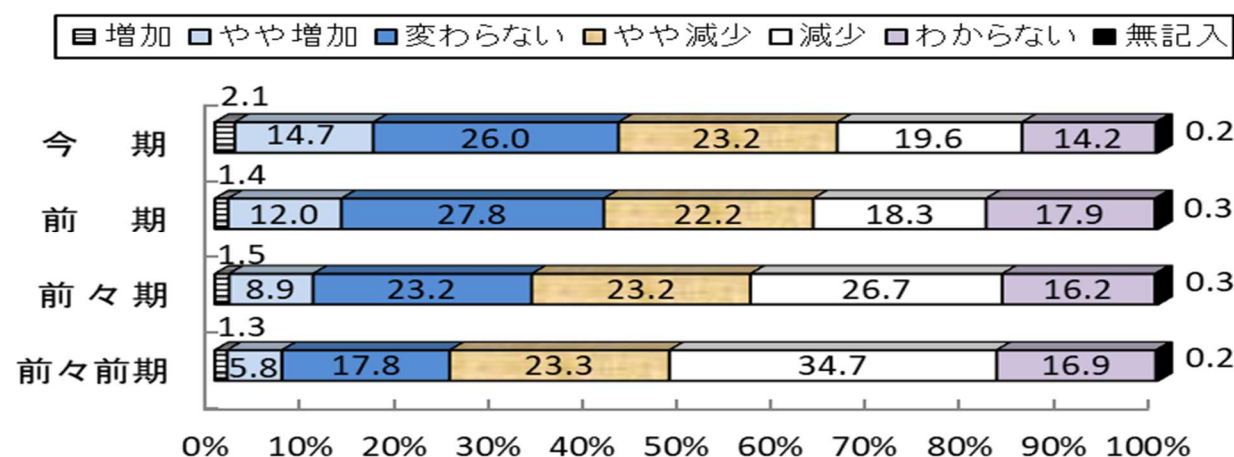
3. 今後の売上見通し

全体では、「増加・やや増加」が 16.8%（前期 13.4%）、「やや減少・減少」が 42.8%（前期 40.5%）で、D I 値は▲26.0（最近の売上状況 D I 値▲30.1）となり、4.1 ポイント改善する見通しとなった。

業種別の D I 値では、最近の売上状況と比べ建設業、卸売業がほぼ横ばいとなり、その他の業種を除く業種は改善する見通しで、製造業▲24.9、建設業▲31.5、卸売業▲30.7、小売業▲39.0、飲食業▲1.6、サービス業▲18.0、交通運輸業▲33.4、その他の業種▲27.2 となった。

地区別の D I 値では、最近の売上状況と比べすべての地区でマイナス幅が減少し改善となり、北勢地区▲25.3、中勢地区▲31.2、南勢地区▲14.6、伊賀地区▲31.1、東紀州地区▲31.6 となった。

図-6 売上見通し



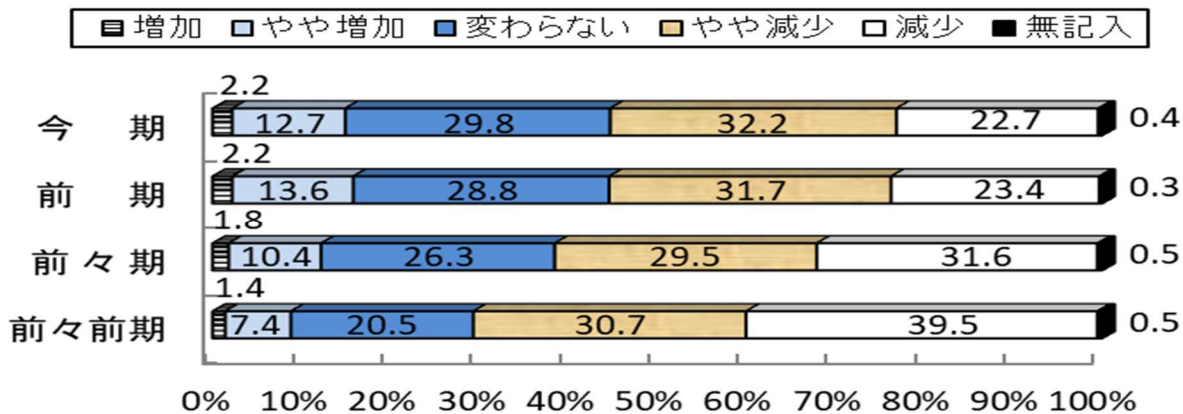
4. 利益状況

全体では、「増加・やや増加」が14.9%（前期15.8%）、「やや減少・減少」が54.9%（前期55.1%）で、D I値は▲40.0（前期▲39.3）となり、ほぼ横ばいとなった。

業種別のD I値では、前回と比べ小売業がほぼ横ばいとなり、飲食業とサービス業は改善したが、製造業、建設業、卸売業、交通運輸業、その他業種でマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲38.5、建設業▲38.2、卸売業▲49.8、小売業▲54.4、飲食業▲35.5、サービス業▲30.4、交通運輸業▲55.5、その他の業種▲33.0となった。

地区別のD I値では、前回と比べ北勢地区は横ばいとなり、南勢地区は改善し、中勢地区、伊賀地区、東紀州地区では悪化した。北勢地区▲36.5、中勢地区▲46.6、南勢地区▲30.6、伊賀地区▲47.7、東紀州地区▲52.5となった。

図一 利益状況



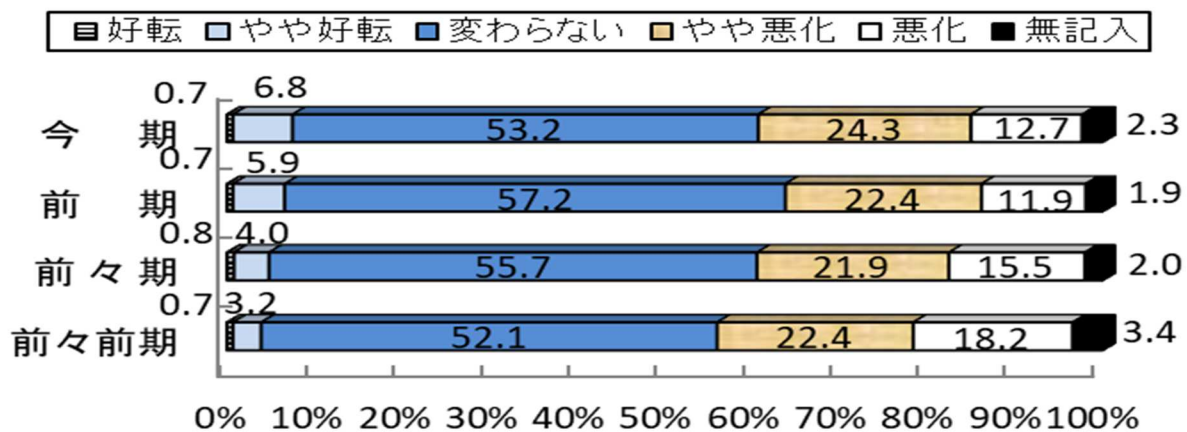
5. 販売条件

全体では、「好転・やや好転」が7.5%（前期6.6%）、「やや悪化・悪化」が37.0%（前期34.3%）で、D I値は▲29.5（前期▲27.7）となり、1.8ポイント悪化した。

業種別のD I値では、改善した飲食業とサービス業を除くすべての業種でマイナス幅が拡大し悪化となり、製造業▲25.6、建設業▲32.5、卸売業▲32.1、小売業▲41.4、飲食業▲26.1、サービス業▲20.5、交通運輸業▲37.8、その他の業種▲25.2となった。

地区別のD I値では、改善した南勢地区を除く、すべての地区でマイナス幅が拡大し悪化となり、北勢地区▲28.9、中勢地区▲30.4、南勢地区▲26.6、伊賀地区▲26.2、東紀州地区▲38.2となった。

図一 販売条件



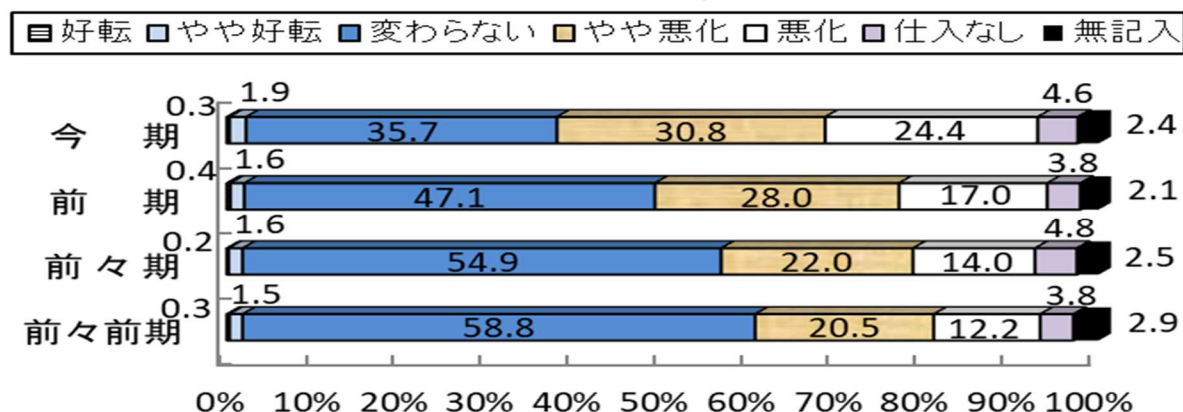
6. 仕入条件

全体では、「好転・やや好転」が2.2%（前期2.0%）、「やや悪化・悪化」が55.2%（前期45.0%）で、D I値は▲53.0（前期▲43.0）となり、10.0ポイント悪化となった。

業種別のD I値では、すべての業種でマイナス幅が拡大し悪化が見られ、製造業▲60.6、建設業▲55.8、卸売業▲59.9、小売業▲57.7、飲食業▲73.4、サービス業▲31.4、交通運輸業▲60.0、その他の業種▲32.2となった。

地区別のD I値では、前回と比べすべての地区でマイナス幅が拡大し悪化が見られ、北勢地区▲53.4、中勢地区▲53.8、南勢地区▲51.2、伊賀地区▲50.7、東紀州地区▲53.0となった。

図-9 仕入条件



7. 設備投資

全体では、設備投資を行った企業は389社、15.1%（前期533社、20.7%）、設備投資を予定している企業は365社、14.2%（前期365社、14.2%）であった。

業種別では、その他の業種が28.2%と、他の業種よりも設備投資を行った割合が高いという結果となった。設備投資の予定についても、その他の業種が22.3%と最も高い割合であった。

地区別では、伊賀地区が実績16.1%と最も高く、設備投資の予定についても伊賀地区が18.1%と最も高い割合であった。

図-10 設備投資の実績

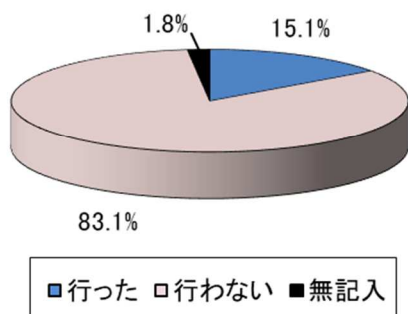
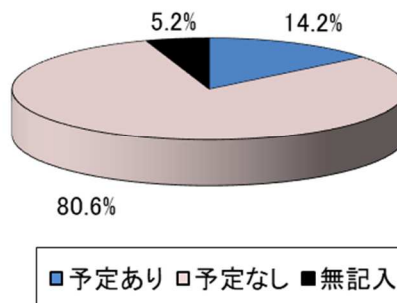


図-11 設備投資の予定



8. 資金繰り状況と今後の見通し

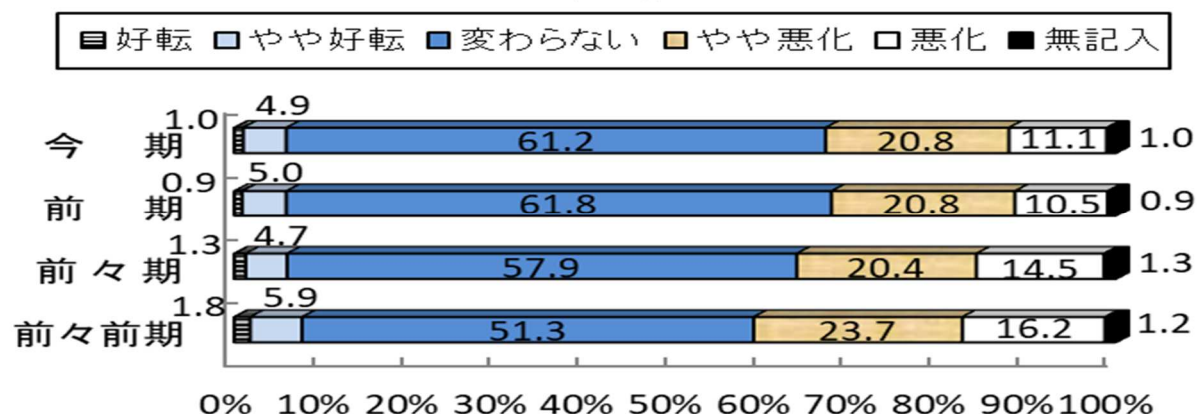
a) 現状

全体では「好転・やや好転」が5.9%（前期5.9%）、「悪化・やや悪化」は31.9%（前期31.3%）で、D I値は▲26.0（前期▲25.4）となり、ほぼ横ばいする結果となった。

業種別D I値では、前回と比べ、小売業、飲食業、サービス業でマイナス幅が減少し改善、製造業、建設業、卸売業、交通運輸業、その他の業種でマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲27.8、建設業▲24.0、卸売業▲27.8、小売業▲34.8、飲食業▲26.1、サービス業▲19.8、交通運輸業▲29.0、その他の業種▲22.3となった。

地区別D I値では、前回と比べ南勢地区▲28.6でマイナス幅が減少し改善が見られ、伊賀地区▲32.6、東紀州地区▲24.6でほぼ横ばい、北勢地区▲25.5、中勢地区▲24.6でマイナス幅が増加し悪化した。

図-12 資金繰りの現状



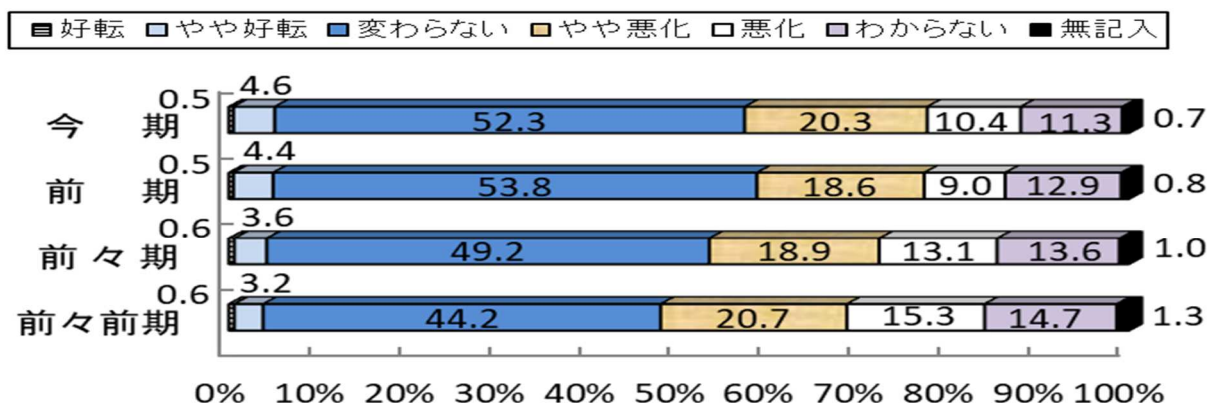
b) 見通し

全体では「好転・やや好転」が5.1%（前期4.9%）、「悪化・やや悪化」は30.7%（前期27.6%）でD I値は▲25.6（現状D I値▲26.0）となり、ほぼ横ばいする見通しとなった。

業種別D I値では、現状と比べ製造業▲26.2、飲食業▲21.6、サービス業▲17.9、交通運輸業▲26.7でマイナス幅が減少し改善が見られ、小売業▲34.9、その他の業種▲21.4でほぼ横ばい、建設業▲25.2、卸売業▲34.4でマイナス幅が増加し悪化する見通しとなった。

地区別のD I値では、現状と比べ中勢地区▲22.0、南勢地区▲25.6でマイナス幅が減少し改善が見られ、北勢地区▲25.8、伊賀地区▲32.2でほぼ横ばい、東紀州地区▲26.4でマイナス幅が増加し悪化する見通しとなった。

図-13 資金繰りの見通し



9. 借入状況

a) 現状

回答企業 2,577 社のうち、借入を実施した企業は、1,007 社、39.1%（前期 1,028 社、39.9%）であった。

b) 借入の難易度

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 13.0%（前期 14.7%）、「困難」は 14.0%（前期 12.9%）で、D I 値は▲1.0（前期 1.8）となり、2.8 ポイント悪化する結果となった。

業種別 D I 値では、サービス業▲1.0、交通運輸業 16.7 で改善が見られ、製造業▲3.5、建設業 5.4、卸売業▲4.8、小売業▲7.7、飲食業▲14.5、その他の業種 6.2 で悪化した。

図-14 借入の難易度

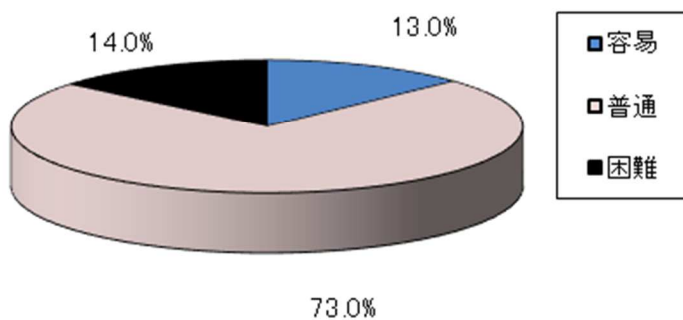
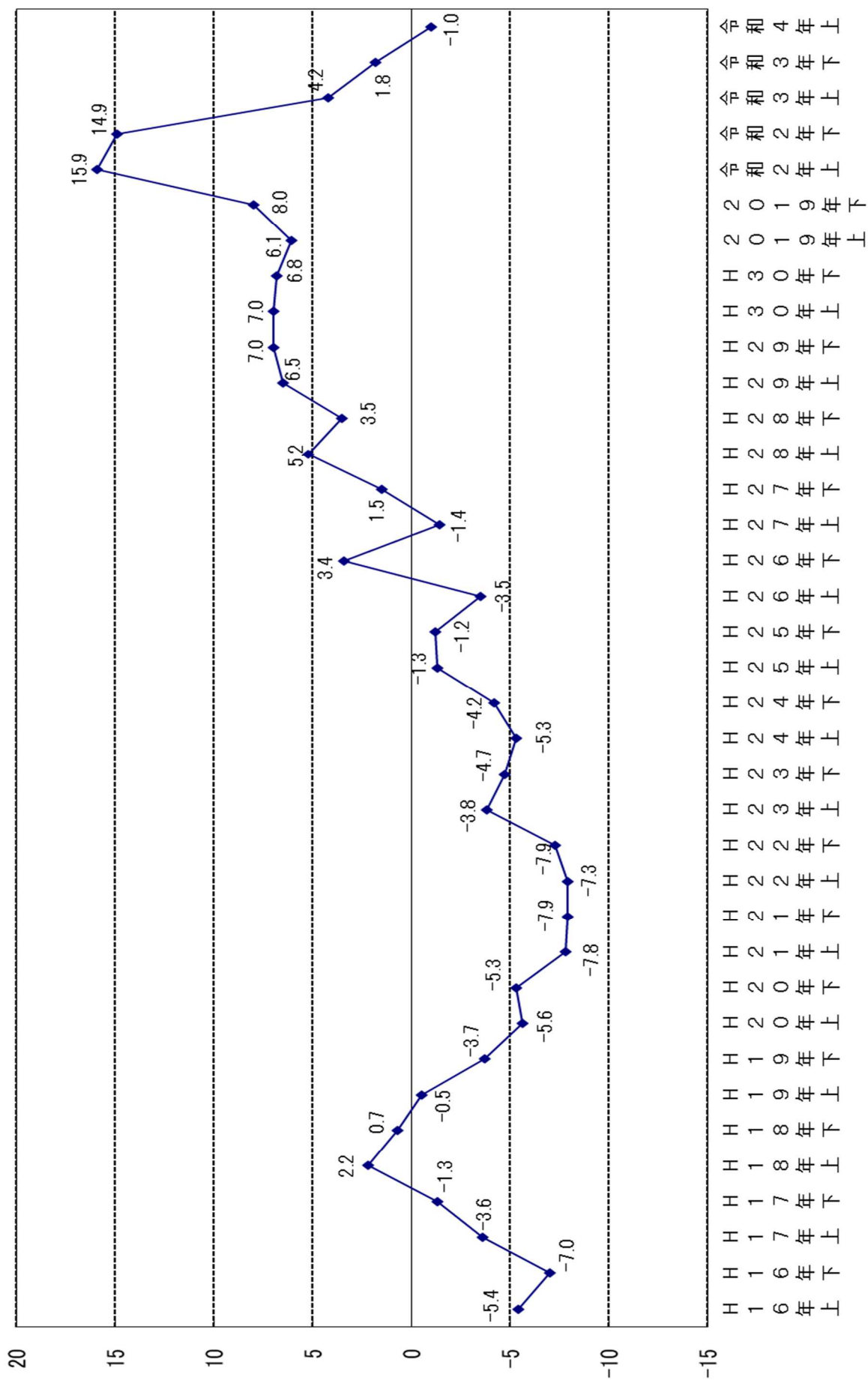


図-15 借入難易度DI値の推移



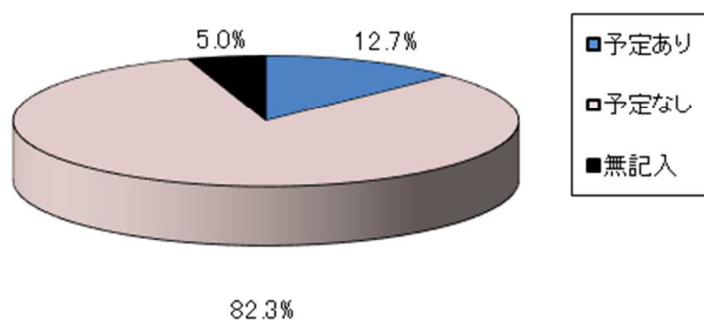
10. 借入予定

全体では、回答企業 2,577 社のうち、借入を予定している企業は 327 社、12.7%（前期 297 社 11.5%）であった。

業種別で見ると、借入を予定しているのは卸売業が 18.2%と最も高く、小売業が 8.5%と最も低かった。

地区別では、伊賀地区が 16.1%と最も高く、北勢地区 13.7%、中勢地区 10.8%、南勢地区 10.3%、東紀州地区 10.2%となった。

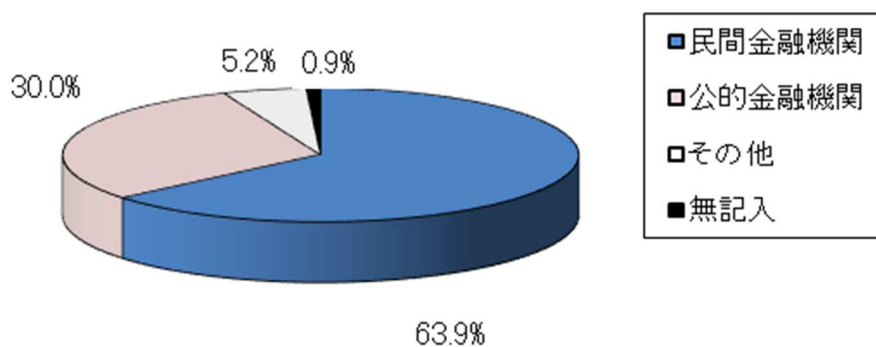
図-16 借入予定



11. 借入希望先

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 63.9%（前期 66.3%）、「公的金融機関」は 30.0%（前期 29.3%）となった。

図-17 借入希望先

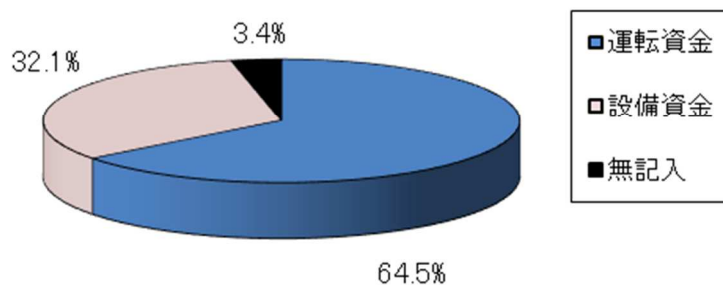


12. 借入金の使途予定

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が64.5%（前期65.0%）に対し、「設備資金」は32.1%（前期30.6%）であった。

業種別では「運転資金」で卸売業が84.0%、「設備資金」で交通運輸業が50.0%と、それぞれ最も高かった。

図-18 借入金の使途予定



13. 経営上の問題点

全体では、「売上・受注の停滞減少」が最も多く48.7%（前期48.8%）、次いで「原材料高及び不足」が43.8%（前期30.0%）、「人手不足」が23.7%（前期25.6%）となり、前期と比較して順位の変動はなかったが、「原材料高及び不足」、の割合が高くなった。

また、業種別においては、卸売業、小売業、サービス業、交通運輸業、その他の業種では「売上・受注の停滞減少」が引続き最も多く、製造業、建設業、飲食業では順位に変動があり、「原材料高及び不足」が最も多くなった。

表-1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第 1 位	第 2 位	第 3 位
業 種 別	製 造 業	原材料高及び不足 (57.3)	売上・受注の停滞減少 (52.4)	設備店舗の狭小老朽化 (21.9)
	建 設 業	原材料高及び不足 (49.9)	人手不足 (42.5)	売上・受注の停滞減少 (41.3)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (59.1)	原材料高及び不足 (43.8)	競争激化 (19.7)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (64.7)	原材料高及び不足 (35.3)	競争激化 (21.7)
	飲 食 業	原材料高及び不足 (67.5)	売上・受注の停滞減少 (43.3)	人手不足 (32.5)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (42.5)	原材料高及び不足 (23.4)	設備店舗の狭小老朽化 (21.5)
	交通運輸業	売上・受注の停滞減少 (53.3)	人件費以外の経費増加 (46.7)	人手不足 原材料高及び不足 (31.1)
	そ の 他	売上・受注の停滞減少 (35.0)	原材料高及び不足 (30.1)	人手不足 (18.4)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (44.9)	原材料高及び不足 (43.6)	人手不足 (25.7)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (53.1)	原材料高及び不足 (48.3)	人手不足 (24.4)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (51.5)	原材料高及び不足 (45.5)	人手不足 (23.6)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (55.8)	原材料高及び不足 (35.2)	競争激化 (23.1)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (52.6)	原材料高及び不足 (40.0)	設備店舗の狭小老朽化 (23.3)
総 合		売上・受注の停滞減少 (48.7)	原材料高及び不足 (43.8)	人手不足 (23.7)

(単位：%)

県内商工会議所地区の景況

桑名商工会議所地区（調査対象 1,513 事業所 回答状況 349 事業所）

現 状

令和4年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が20.4%（前期19.6%）、「やや悪い・悪い」が47.9%（前期51.6%）となった。D I 値は▲27.5（前期▲32.0）となり、前期調査時に比べ4.5ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲30.8（前期▲29.7）・建設業が▲23.4（前期▲18.1）・卸売業が▲47.5（前期▲47.6）・小売業が▲36.2（前期▲45.1）・飲食業が▲29.5（前期▲70.0）・サービス業が▲23.3（前期▲30.9）・交通運輸業が▲28.6（前期▲33.3）・その他の業種が▲4.4（前期▲4.5）となった。

業種別では前期D I 値と比較して小売業、飲食業、サービス業、交通運輸業で改善が見られ、卸売業、その他の業種が横ばい、製造業、建設業については悪化となった。

特に飲食業については、40ポイント以上の大幅な改善が見られた。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が17.2%、「やや悪い・悪い」との回答は41.8%で、D I 値は▲24.6となった。

現状のD I 値（▲27.5%）と比較すると、2.9ポイントと若干の業況改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲27.3・建設業が▲25.9・卸売業が▲42.8・小売業が▲38.3・飲食業が▲5.8・サービス業が▲12.4・交通運輸業が0.0・その他の業種が▲26.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が3.5ポイント、卸売業が4.7ポイント、飲食業が23.7ポイント、サービス業が10.9ポイント、交通運輸業が28.6ポイント改善する見通しである。

一方で建設業が2.5ポイント、小売業が2.1ポイント、その他の業種が21.6ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、46.1%（前期49.6%）、「原材料高及び不足」が42.4%（前期34.2%）、「人手不足」が21.2%（前期21.0%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となった。一方で、建設業、飲食業、交通運輸業は「原材料高及び不足」が最も多い結果となった。

「原材料高及び不足」の回答は、卸売業以外の7業種で増加しており、円安やウクライナ情勢による原材料高とコロナ禍による原材料不足といった影響が窺える。また、「人件費以外の経費増加」の回答も15.2%（前期10.6%）となっており、日常経費全般が上昇傾向にあることが窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は58社 16.6%（前期22.1%）であった。前期と比較して5.5ポイント減少した。

業種別では、製造業が13.6%（前期17.9%）、建設業が11.0%（前期12.1%）、卸売業が0.0%（前期9.5%）、

小売業が 6.4% (前期 19.4%)、飲食業が 35.3% (前期 55.0%)、サービス業が 24.7% (前期 33.8%)、交通運輸業が 42.9% (前期 0.0%)、その他の業種が 34.8% (前期 22.7%) となった。

前期と比較し、交通運輸業が 42.9 ポイントと最も増加幅が大きく、飲食業が▲19.7 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

四日市商工会議所地区（調査対象事業所事業所 2,264 事業所 回答状況 624 事業所） 現 状

令和 4 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 20.4% (前期 16.4%)、「やや悪い・悪い」が 45.6% (前期 49.0%) となった。D I 値は▲25.2 (前期▲32.6) となり、前期調査時に比べ 7.4 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲22.8 (前期▲27.5)・建設業が▲24.4 (前期▲27.6)・卸売業が▲35.1 (前期▲43.2)・小売業が▲52.7 (前期▲47.7)・飲食業が▲2.9 (前期▲61.1)・サービス業が▲15.8 (前期▲30.5)・その他の業種が▲25.0 (前期▲17.2) となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業、建設業、卸売業、飲食業、サービス業で改善した。一方で、小売業、その他の業種で悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 17.9%、「やや悪い・悪い」との回答は 40.2%、D I 値は▲22.3 となった。現状の D I 値 (▲25.2) と比較すると 2.9 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲19.3・建設業が▲27.7・卸売業が▲16.2・小売業が▲41.9・飲食業が 29.4・サービス業が▲17.3・その他の業種が▲35.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると製造業が 3.5 ポイント、卸売業が 18.9 ポイント、小売業が 10.8 ポイント、飲食業が 32.3 ポイントと改善を見通す。一方で、建設業が 3.3 ポイント、サービス業が 1.5 ポイント、その他の業種が 10.0 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く 43.6% (前期 43.4%)、次いで「原材料高及び不足」が 42.6% (前期 29.2%)、「人手不足」が 29.5% (前期 29.7%) と上位を占めた。

課題別では、「原材料高及び不足」については製造業で 63.2% (前期 45.9%)、飲食業で 58.8% (前期 52.8%) と半数を超え最も深刻な課題となった。「売上・受注の停滞減少」については小売業で 67.6% (前期 64.6%)、卸売業では 10.8 ポイント減少したものの 59.5% (前期 70.3%) と依然として深刻な状況が続いている。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 99 社 15.9% (前期 21.9%) であった。前期と比較して 6.0 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 21.1% (前期 22.0%)、建設業が 17.1% (前期 20.4%)、卸売業が 2.7% (前期 8.1%)、

小売業が 6.8%（前期 18.5%）、飲食業が 2.9%（前期 27.8%）、サービス業が 21.3%（前期 27.3%）、その他の業種では 20.0%（前期 27.6%）となった。

前期と比較し、製造業はほぼ横ばいで推移した一方で、建設業が 3.3 ポイント、卸売業が 5.4 ポイント、小売業が 11.7 ポイント、飲食業が 24.9 ポイント、サービス業が 6.0 ポイント、その他の業種が 7.6 ポイント減少した。

鈴鹿商工会議所地区（調査対象 1,100 事業所 回答状況 325 事業所）

現 状

令和 4 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 13.3%（前期 13.6%）、「やや悪い・悪い」が 50.8%（前期 53.9%）となった。D I 値は▲37.5（前期▲40.3）となり、前期調査時に比べ 2.8 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲49.9（前期▲31.1）・建設業が▲29.9（前期▲28.2）・卸売業が▲16.7（前期▲45.5）・小売業が▲50.0（前期▲65.9）・飲食業が▲46.5（前期▲84.2）・サービス業が▲20.3（前期▲11.4）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して、卸売業は 28.8 ポイント、小売業は 15.9 ポイント、飲食業は 37.7 ポイントの改善が見られた一方で、製造業は 18.8 ポイント、建設業は 1.7 ポイント、サービス業は 8.9 ポイントの悪化を示した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 11.3%、「やや悪い・悪い」との回答は 54.8%、D I 値は▲43.5 となった。現状の D I 値（▲37.5）と比較すると、6.0 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲51.6・建設業が▲36.2・卸売業が▲66.6・小売業が▲52.1・飲食業が▲46.4・サービス業が▲30.4 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、飲食業が 0.1 ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で、製造業が 1.7 ポイント、建設業が 6.3 ポイント、卸売業が 49.9 ポイント、小売業が 2.1 ポイント、サービス業が 10.1 ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く 46.5%（前期 50.3%）、「原材料高及び不足」が 44.3%（前期 29.0%）、「人材不足」が 22.8%（前期 27.7%）と上位を占めた。

業種別では、小売業、飲食業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多かった。建設業は、「原材料高及び不足」前期 3 位 36.9%が今期 1 位 47.4%へ、「人手不足」前期 1 位 52.4%が今期 2 位 45.4%へ変動した。「人手不足」と並んで業界問題でもある「原材料高及び不足」の課題が表面化していることが窺える。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は 53 社 16.3%（前期 19.0%）であった。前期と比較し

2.7ポイント減少した。業種別では、製造業が4.7%（前期18.0%）、建設業が20.6%（前期20.4%）、卸売業が0.0%（前期0.0%）、小売業が20.8%（前期が2.4%）、飲食業が17.9%（前期31.6%）、サービス業が11.9%（前期25.7%）となった。前期と比較すると、小売業で設備投資の増加が見られ、18.4ポイントと最も増加幅が大きい結果となった。一方、サービス業は13.8ポイントと最も減少幅が大きかった。

亀山商工会議所地区（調査対象493事業所 回答状況84事業所）

現 状

令和4年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が15.5%（前期22.5%）、「やや悪い・悪い」が48.8%（前期45.9%）となった。D I値は▲33.3（前期▲23.4）となり、前期調査時に比べ9.9ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲65.3（前期▲31.5）・建設業が▲5.9（前期▲5.2）・卸売業が▲50.0（前期▲25.0）・小売業が▲45.5（前期▲70.0）・飲食業が14.3（前期▲42.9）・サービス業が▲12.5（前期▲9.5）・交通運輸業が▲66.7（前期28.5）・その他の業種が0.0（前期100）となった。

業種別では前期D I値と比較して建設業については横ばいであり、卸売業・飲食業・サービス業及び交通運輸業についてはマイナス幅の改善が見られたが、製造業、小売業・その他の業種については悪化という結果となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が14.3%、「やや悪い・悪い」との回答は38.1%、D I値は▲23.8となった。

現状のD I値（▲33.3）と比較すると9.5ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲39.2・建設業が▲5.9・卸売業が▲100・小売業が▲36.4・飲食業が14.3・サービス業が▲31.3・交通運輸業が▲0.1・その他の業種が0.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が26.1ポイント・小売業が9.1ポイント・交通運輸業が66.6ポイント改善を見通すほか、建設業・飲食業・その他の業種が現在の水準で推移する見通しである。一方で卸売業が50.0ポイント・サービス業が18.8ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「原材料高及び不足」が最も多く、53.6%（前期22.5%）、「売上・受注の停滞減少」が44.0%（前期48.6%）、「人手不足」が27.4%（前期27.0%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、建設業において「原材料高及び不足」が最も多く、小売業、サービス業では「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は10社 11.9%（前期18.0%）であった。前期と比較して6.1ポイント減少した。

業種別では、製造業が8.7%（前期21.1%）、建設業が11.8%（前期5.3%）、卸売業が50.0%（前期50.0%）、

小売業が9.1%（前期15.0%）、飲食業が0.0%（前期28.6%）、サービス業が12.5%（前期14.3%）、交通運輸業が33.3%（前期0.0%）、その他の業種が0.0%（前期33.3%）となった。設備投資を実施した企業数では、製造業、建設業、サービス業、交通運輸業が2社ずつ実施しており最も多かった。

津商工会議所地区（調査対象1,629事業所 回答状況191事業所）

現 状

令和4年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が16.3%（前期18.7%）、「やや悪い・悪い」が51.3%（前期47.3%）となった。D I値は▲35.0（前期▲28.6）となり、前期調査時に比べ6.4ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲41.9（前期▲24.9）・建設業が▲22.0（前期▲7.6）・卸売業が▲41.7（前期▲62.5）・小売業が▲75.0（前期▲68.7）・飲食業が▲26.4（前期▲50.0）・サービス業が▲32.3（前期▲30.4）・その他の業種が▲18.7（前期▲33.2）となった。

業種別では前期D I値と比較して、卸売業、飲食業、その他の業種で改善が見られた。一方で、製造業、建設業、小売業、サービス業については悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が14.1%、「やや悪い・悪い」との回答は43.9%、D I値は▲29.8となった。

現状のD I値（▲35.0）と比較すると、5.2ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲35.4・建設業が▲27.1・卸売業が▲33.3・小売業が▲60.0・飲食業が▲10.5・サービス業が▲12.9・その他の業種が▲31.2となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で改善の見通しとなった。一方で、建設業、その他の業種は悪化する見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、50.3%（前期55.3%）、「原材料高及び不足」が46.6%（前期30.7%）「人手不足」が27.2%（前期32.0%）と上位を占めた。

特に「原材料高及び不足」の上昇が顕著であり、前期と比較して15.9ポイント上昇する結果となった。

また、業種別では、製造業・卸売業・小売業・サービス業・その他の業種が前期から引続き「売上・受注の停滞減少」が第1位となる中、建設業、飲食業では「原材料高及び不足」が第1位となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は30社15.7%（前期18.0%）であった。前期と比較して2.3ポイント減少した。業種別では、建設業11社（前期13社）が最も多かった。

松阪商工会議所地区（調査対象 898 事業所 回答状況 289 事業所）

現 状

令和4年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が12.5%（前期11.9%）、「やや悪い・悪い」が56.4%（前期56.4%）となった。D I 値は▲43.9（前期▲44.5）となり、前期調査時に比べほぼ横ばいする結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲51.6（前期▲27.9）・建設業が▲38.9（前期▲43.6）・卸売業が▲47.0（前期▲55.4）・小売業が▲55.1（前期▲56.4）・飲食業が11.8（前期▲62.5）・サービス業が▲37.6（前期▲44.5）・交通運輸業が▲57.8（前期▲35.7）となった。

業種別では前期D I 値と比較して、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業は改善。一方で、製造業、交通運輸業は悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が11.0%、「やや悪い・悪い」との回答は47.0%、D I 値は▲36.0となった。

現状のD I 値（▲43.9）と比較すると、7.9ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲48.3・建設業が▲16.9・卸売業が▲52.9・小売業が▲46.4・飲食業が0.0・サービス業が▲25.0・交通運輸業が▲63.1となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が3.3ポイント、建設業が22.0ポイント、小売業が8.7ポイント、サービス業が12.6ポイント改善する見通し。一方で、卸売業が5.9ポイント、飲食業が11.8ポイント、交通運輸業が5.3ポイント悪化する見通し。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く55.0%（前期51.6%）、「原材料高及び不足」が49.5%（前期31.7%）、「人手不足」が22.5%（前期23.3%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、建設業、飲食業では「原材料高及び不足」が、卸売業、小売業、サービス業では「売上・受注の停滞減少」が、交通運輸業では「人件費以外の経費増加」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は35社12.1%（前期15.0%）であった。前期と比較して2.9ポイント減少した。

業種別では、製造業が11.7%（前期16.4%）、建設業が11.9%（前期11.3%）、小売業が10.1%（前期12.9%）、飲食業が17.6%（前期18.8%）、サービス業が14.6%（前期11.1%）、交通運輸業が21.1%（前期35.7%）となった。一方で、卸売業では設備投資を実施した企業はなかった（前期22.2%）。

前期と比較し、サービス業が3.5ポイントと最も増加幅が大きく、卸売業は22.2ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

伊勢商工会議所地区（調査対象 600 事業所 回答状況 211 事業所）

現 状

令和 4 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 22.8%（前期 16.5%）、「やや悪い・悪い」が 45.0%（前期 55.9%）となった。D I 値は▲22.2（前期▲39.4）となり、前期調査時に比べ 17.2 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲11.7（前期▲23.0）・建設業が▲25.0（前期▲39.0）・卸売業が▲25.0（前期▲58.4）・小売業が▲40.1（前期▲51.6）・飲食業が▲13.8（前期▲51.3）・サービス業が▲17.7（前期▲13.9）・その他の業種が▲0.0（前期▲44.5）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、その他の業種で改善が見られた。一方で、サービス業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 25.1%、「やや悪い・悪い」との回答は 33.6%、D I 値は▲8.5 となった。

現状の D I 値（22.2）と比較すると、13.7 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲8.8・建設業が▲29.1・卸売業が▲25.1・小売業が▲28.9・飲食業が 27.9・サービス業が▲0.0・その他の業種が▲0.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、建設業が 4.1 ポイント、サービス業が 17.7 ポイント改善を見通すほか、卸売業が 0.1 ポイント、その他の業種が▲0.0 ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で製造業が▲2.9 ポイント、小売業が▲11.2 ポイント、飲食業が▲41.7 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」最も多く、52.1%（前期 49.0%）、「原材料高及び不足」が 43.6%（前期 29.5%）、「人手不足」が 22.7%（前期 30.7%）と上位を占めた。

また、業種別では、建設業・卸売業・小売業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、製造業・飲食業で「原材料高及び不足」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 28 社 13.3%（前期 22.2%）であった。前期と比較して 8.9 ポイント減少した。業種別では、業種別ではサービス業が 8 社と最も多かった。

鳥羽商工会議所地域（調査対象 250 事業所 回答状況 90 事業所）

現 状

令和 4 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 23.3%（前期 12.5%）、「やや悪い・悪い」が 57.7%（前期 70.8%）となった。D I 値は▲34.4（前期▲58.3）となり前期調査時に比べ、23.9 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲56.5（前期▲70.8）・建設業が▲33.4（前期▲46.2）・卸売業が▲100.0（前期▲62.5）・小売業が▲42.0（前期▲53.3）・飲食業が 10.0（前期▲50.0）・サービス業が▲22.2（前期▲57.8）・その他の業種が▲33.3（前期▲100.0）となっている。業種別において製造業、建設業、小売業、飲食業、サービス業、その他の業種に改善がみられるが卸売業については悪化している。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 20.0%、「やや悪い・悪い」との回答は 43.4%、D I 値は▲23.4 となった。

現状の D I 値（▲34.4）と比較すると、11.0 ポイント改善の見通しとなっている。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲21.8・建設業が▲33.4・卸売業が 0.0・小売業が▲36.8・飲食業が▲0.0・サービス業が▲22.2・その他の業種が▲33.3 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると製造業と小売業が改善の見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」（前期 45.8%）と「原材料高及び不足」（35.4%）が最も多く 50.0%を占めた。次いで「設備店舗の狭小老朽化」が 32.2%（前期 34.4%）と上位を占めた。業種別では製造業、小売業は「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となったが、建設業、飲食業、卸売業は「原材料高及び不足」、サービス業は「設備店舗の狭小」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 10 社 11.1%（前期 27.1%）であった。前期と比較して 16.0 ポイント減少した。業種別では、製造業が 0.0%（前期 25.0%）、建設業が 20.0%（前期 15.4%）、卸売業が 0.0%（前期 12.5%）、小売業が 5.3%（前期 13.3%）、飲食業が 20.0%（前期 31.3%）、サービス業が 22.2%（前期 52.6%）、交通運輸業が 0.0%（前期 0.0%）、その他業種が 0.0%（前期 0.0%）となった。

上野商工会議所地区（調査対象 280 事業所 回答状況 96 事業所）

現 状

令和4年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が13.5%（前期13.0%）、「やや悪い・悪い」が54.2%（前期46.3%）となった。D I 値は▲40.7（前期▲33.3）となり、前期調査時に比べ7.4ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲44.8（前期▲28.0）・建設業が▲43.8（前期4.8）・卸売業が▲40.0（前期▲50.0）・小売業が▲64.4（前期▲38.5）・飲食業が▲37.5（前期▲46.2）・サービス業が▲27.7（前期▲56.0）・交通運輸業が0.0（前期▲40.0）となった。

業種別では前期D I 値と比較して、卸売業・飲食業・サービス業・交通運輸業でマイナス幅が縮小し改善が見られた。一方で、建設業がプラスからマイナスに転じて大幅に悪化し、製造業・小売業も悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が10.4%、「やや悪い・悪い」との回答は40.7%、D I 値は▲30.3となった。

現状のD I 値（▲40.7）と比較すると、10.4ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲34.6・建設業が▲43.8・卸売業が▲40.0・小売業が▲35.7・飲食業が▲25.0・サービス業が▲22.2・交通運輸業が33.3となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が10.2ポイント、小売業が28.7ポイント、飲食業が12.5ポイント、サービス業が5.5ポイント改善を見通すほか、建設業・卸売業が0.0ポイントと現在の水準で推移する見通しである。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く61.5%（前期59.3%）、「原材料高及び不足」が38.5%（前期30.9%）、「競争激化」が25.0%（前期25.2%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・卸売業・小売業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業・飲食業では「原材料高及び不足」が最も多く、交通運輸業では「人件費以外の経費増加」「競争激化」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は19社19.8%（前期27.6%）であった。前期と比較して7.8ポイント減少した。

業種別では、製造業が17.2%（前期24.0%）、建設業が12.5%（前期19.0%）、卸売業が20.0%（前期0.0%）、小売業が0.0%（前期23.1%）、飲食業が25.0%（前期53.8%）、サービス業が38.9%（前期24.0%）、交通運輸業が66.7%（前期80.0%）となった。業種別では、サービス業が7社と最も多かった。

名張商工会議所地域（調査対象 200 事業所 回答状況 103 事業所）

現 状

令和 4 年 1 月～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 16.5%（前期 16.9%）、「やや悪い・悪い」が 56.3%（前期 51.8%）となった。D I 値は▲39.8（前期▲34.9）となり、前期調査時に比べ 4.9 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲31.3（前期▲30.0）・建設業が▲33.4（前期▲30.0）・卸売業が▲62.5（前期 0.0）・小売業が▲70.6（前期▲66.6）・飲食業が▲25.0（前期▲57.1）、サービス業が▲30.0（前期▲34.7）となった。業種別では前期 D I 値と比較して飲食業、サービス業で改善が見られた。一方で製造業、建設業、卸売業、小売業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 14.6%、「やや悪い・悪い」との回答は 46.6%、D I 値は▲32.0 となった。

現状の D I 値（▲39.8）と比較すると、7.8 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲18.8・建設業が▲25.0・卸売業が▲12.5・小売業が▲70.6・飲食業が▲12.5・サービス業が▲33.3 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業が 12.5 ポイント・建設業が 8.4 ポイント・卸売業が 50.0 ポイント、飲食業が 12.5 ポイント改善を見通すほか、小売業は現在の水準で推移する見通しである。一方でサービス業が 3.3 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く、50.5%（前期 47.0%）、「原材料高及び不足」が 32.0%（前期 24.1%）「競争激化」が 21.4%（前期 20.5%）、と上位を占めた。

また、業種別では、建設業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、製造業で「原材料高及び不足」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は 13 社 12.6%（前期 24.1%）であった。前期と比較して 11.5 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 12.5%（前期 10.0%）、建設業が 12.5%（前期 20.0%）、卸売業 0%（前期 28.6%）、小売業が 25.0%（前期 16.7%）、飲食業が 25.0%（前期 57.1%）、サービス業が 13.3%（前期 23.1%）、となり、サービス業が 4 社と最も多かった。

尾鷲商工会議所地域（調査対象 127 事業所 回答状況 124 事業所）

現 状

令和 4 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 12.1%（前期 13.7%）、「やや悪い・悪い」が 53.2%（前期 48.1%）となった。D I 値は▲41.1（前期▲34.4）となり、前期調査時に比べ 6.7 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲12.6（前期▲12.5）・建設業が▲47.6（前期▲8.0）・卸売業が▲75.0（前期▲55.6）・小売業が▲65.0（前期▲47.9）・飲食業が▲71.4（前期▲91.7）・サービス業が▲36.8（前期▲40.9）・交通運輸業が▲25.0（前期▲40.0）・その他の業種が 0.0（前期▲33.3）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して飲食業、サービス業、交通運輸業、その他の業種で改善が見られ、製造業がほぼ横ばいの結果となり、特にその他の業種については、マイナス幅が 33.3 ポイント縮小し、改善が見られた。一方で、建設業、卸売業、小売業では悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 12.9%、「やや悪い・悪い」との回答は 42.7%、D I 値は▲29.8 となった。

現状の D I 値（▲41.1）と比較すると、11.3 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲18.8・建設業が▲42.8・卸売業が▲50.0・小売業が▲45.0・飲食業が▲35.7・サービス業が▲26.4・交通運輸業が 0.0・その他の業種が 16.6 となった。

業種別に現状の D I 値を比較すると、飲食業が 35.7 ポイント改善を見通すほか、卸売業と交通運輸業が 25.0 ポイント、小売業が 20.0 ポイント、その他の業種が 16.6 ポイント、サービス業が 10.4 ポイント、建設業が 4.8 ポイントの改善を見通す結果となった。

一方、製造業で▲6.2 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題については、前期に引続き「売上・受注の停滞減少」が最も多く 55.6%（前期 48.9%）、「原材料高及び不足」が 38.7%（前期 25.2%）、「設備店舗の狭小老朽化」が 21.8%（前期 20.6%）、「人手不足」が 16.1%（前期 14.5%）、「人件費以外の経費増加」が 15.3%（前期 17.6%）、「競争激化」が 12.1%（前期 9.9%）と上位を占めた。

業種別では、原材料高及び不足について、建設業では前期 4 位の 20.0%から今期 2 位の 38.1%へ増加した。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は 17 社 13.7%（前期 23 社 17.6%）であった。前期と比較して 3.9 ポイント減少した。

業種別では、製造業 25.0%（前期 28.1%）、建設業 9.5%（前期 12.0%）、卸売業 0.0%（前期 0.0%）、小売業 0.0%（前期 13.0%）、飲食業 0.0%（前期 16.7%）、サービス業 26.3%（前期 22.7%）、交通運輸業 0.0%（前期 0.0%）、その他の業種 33.3%（前期 33.3%）となり、前期と比較し、サービス業が 3.6 ポイントと最も増加幅が大きく、飲食業が▲16.7 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。設備投資を実施した企業数では、製造業が 8 社と最も多かった。

熊野商工会議所地区（調査対象 200 事業所 回答状況 91 事業所）

現 状

令和 4 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 11.0%（前期 14.0%）、「やや悪い・悪い」が 57.2%（前期 59.4%）となった。D I 値は▲46.2（前期▲45.4）となり、前期調査時に比べほぼ横ばいする結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲13.4（前期▲33.3）・建設業が▲40.1（前期▲23.1）・卸売業が▲25.0（前期 0.0）・小売業が▲77.7（前期▲62.5）・飲食業が▲60.0（前期▲50.0）・サービス業が▲33.3（前期▲57.1）・交通運輸業が▲100.0（前期 0.0）・その他の業種が▲20.0（前期▲100.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業、サービス業、その他の業種で改善が見られた。特にその他の業種については、マイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方で、建設業、卸売業、小売業、飲食業、交通運輸業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 12.1%、「やや悪い・悪い」との回答は 50.6%、D I 値は▲38.5 となった。

現状の D I 値（▲46.2）と比較すると、7.7 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲20.0・建設業が▲13.3・卸売業が▲75.0・小売業が▲55.5・飲食業が▲80.0・サービス業が▲22.2・交通運輸業が▲100.0・その他の業種が▲40.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、建設業が 26.8 ポイント・小売業が 22.2 ポイント・サービス業が 11.1 ポイント改善を見通すほか、交通運輸業が 0.0 ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で製造業は 6.6 ポイント・卸売業は 50.0 ポイント・飲食業は 20.0 ポイント・その他の業種は 20.0 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、48.4%（前期 46.9%）、「原材料高及び不足」が 41.8%（前期 34.4%）、「設備店舗の狭小老朽化」が 25.3%（前期 26.6%）と上位を占めた。

また、業種別では、卸売業が、前期 1 位「売上・受注の停滞減少」・「人件費以外の経費増加」・「原材料高及び不足」25.0%から今期 1 位「売上・受注の停滞減少」75.0%今期 2 位「原材料高及び不足」50.0%に変動した。

「売上・受注の停滞減少」・「原材料高及び不足」の課題がさらに上昇している状況が窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 17 社 18.7%（前期 18.8%）であった。前期と比較して 0.1 ポイント減少した。業種別では小売業が 4 社と最も多かった。

景況調査票

令和4年7月

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1 業種(主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
〈建設業〉	6.化学製品	7.土石業	8.印刷・出版	9.その他	
〈卸売業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈小売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈飲食業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈サービス業〉	21.飲食店				
〈交通運輸業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他
	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他		


2 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について


3 現状について…令和4年1～6月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	2. やや良い	3. 変わらない	4. やや悪い	5. 悪	6. わからない
------	---------	----------	---------	------	----------

理由: 

4 今後の見通しについて…令和4年7～12月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 良	2. やや良い	3. 変わらない	4. やや悪い	5. 悪	6. わからない
------	---------	----------	---------	------	----------

理由: 

5 売上状況について…令和4年1～6月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減	6. 減少
------	---------	----------	---------	------	-------

6 売上の見通しについて…令和4年7～12月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 増	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減	6. 減少
------	---------	----------	---------	------	-------

7 利益状況について…令和4年1～6月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減	6. 減少
------	---------	----------	---------	------	-------

8 販売条件(単価・決済方法)について…令和4年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	6. 悪化
------	---------	----------	---------	------	-------

9 仕入条件(単価・決済方法)について…令和4年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	6. 悪化
------	---------	----------	---------	------	-------

10 設備投資について

令和4年1～6月の実績			令和4年7～12月の予定		
1. 行った	2. 行わない		1. 予定あり	2. 予定なし	



11 資金繰りの現状について…令和4年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	6. 悪化
------	---------	----------	---------	------	-------

12 資金繰りの見通しについて…令和4年7～12月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	6. わからない
------	---------	----------	---------	------	----------

13 借入の現状について…令和4年1～6月はどうでしたか。(借入された方のみ)


1. 容易	2. 普通	3. 困難
-------	-------	-------

14 借入予定はどうか…(令和4年7～12月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

14-① 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------



14-② 資金用途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------



15 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16 その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

特にコロナウイルス感染症の影響、国・県などの経済支援策の活用状況や、今後行政へ希望する対策などを含めて御記入ください。

()

御協力ありがとうございました。